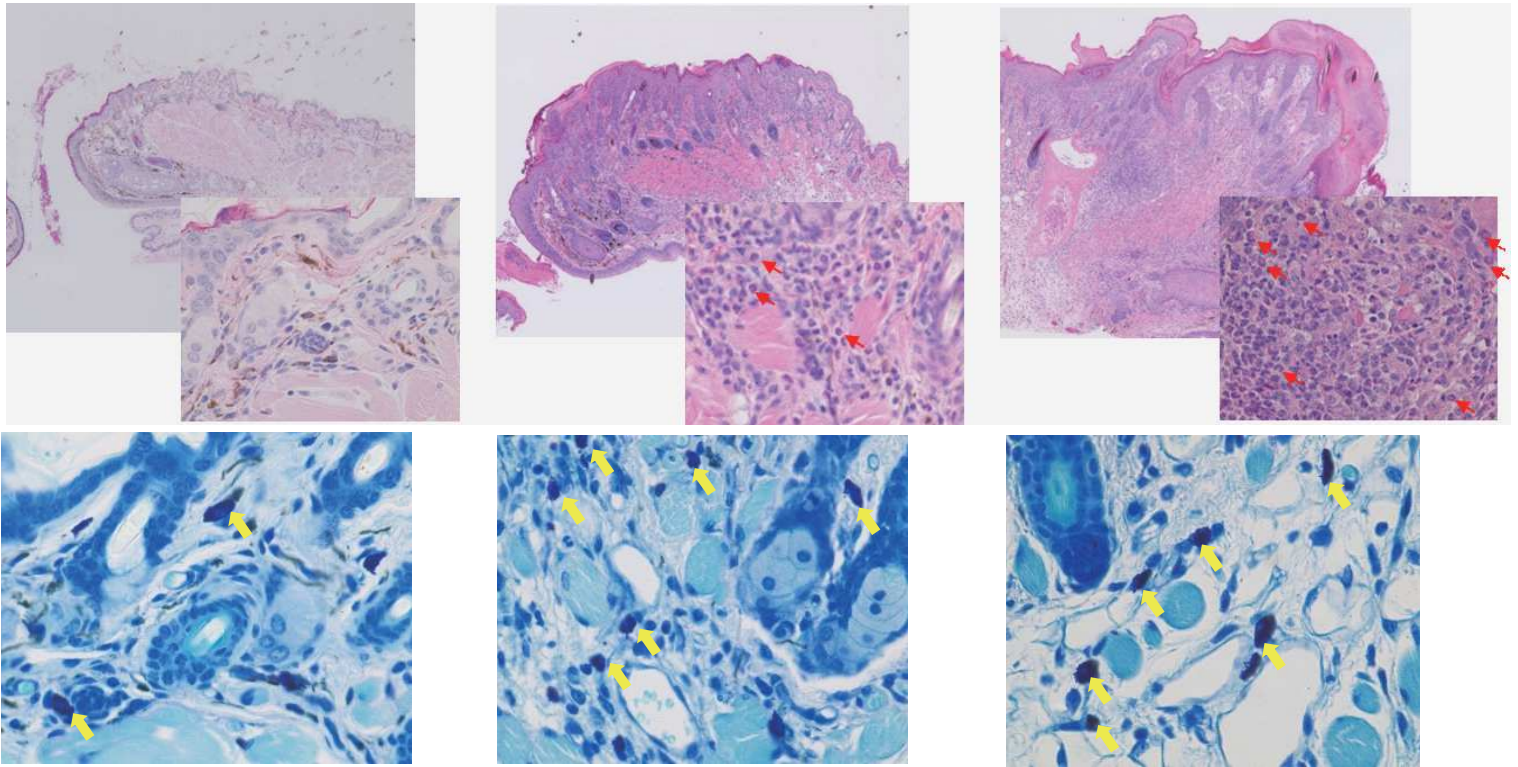


トランスジェニック社のモデルマウス製品 アトピー性皮膚炎モデルマウス

ヒトアトピー性皮膚炎様の症状を呈する IL-33トランスジェニックマウス



Wild type 11週齢

IL-33 Tg 11週齢

IL-33 Tg 13週齢

＜病理検査＞ 眼瞼皮膚炎、炎症性細胞浸潤が認められる（赤色矢印）
肥満細胞についても確認（黄色矢印）

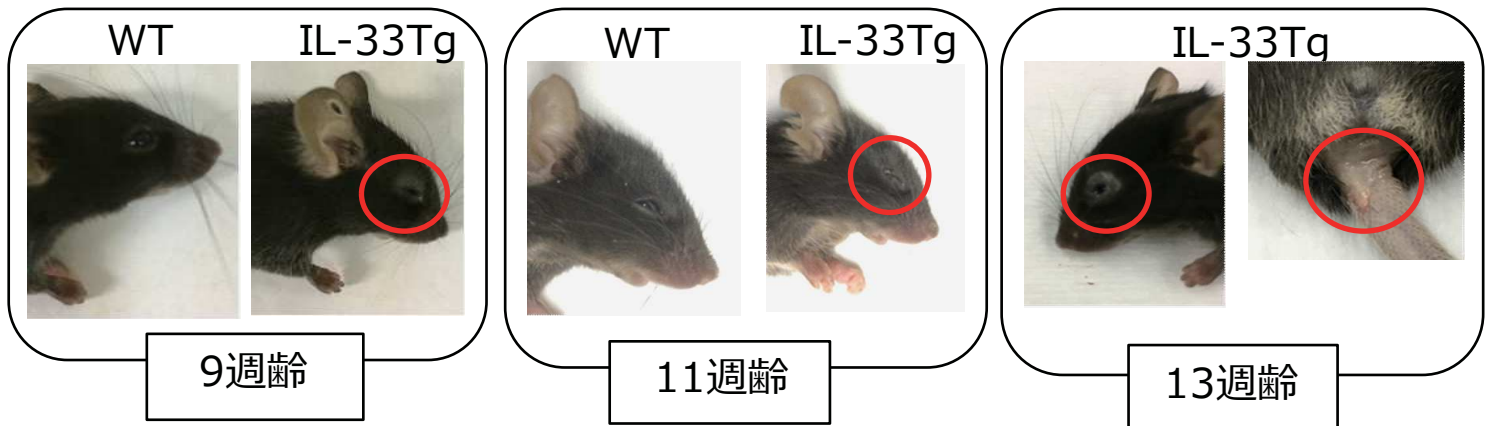
参考文献：Imai, Y. et al., Skin-specific expression of IL-33 activates group 2 innate lymphoid cells and elicits atopic dermatitis-like inflammation in mice. Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A. 110, 13921-13926 (2013).

特許：PCT/JP2014/061931「アトピー性皮膚炎モデル動物及びその用途」

当社は、学校法人兵庫医科大学および国立大学法人三重大学より、本マウスについての独占実施権を許諾されています。

アトピー性皮膚炎とIL-33Tgマウス

IL-33は様々な臓器の上皮細胞や血管内皮細胞の核内に局在し、細胞外へ放出されて、免疫系細胞を活性化するインターロイキンの一つです。免疫系が関与する様々な疾患において、幅広く働いていると考えられており、アトピー性皮膚炎の皮膚においてもIL-33は多量に産生されていることが知られています。このIL-33を皮膚特異的なケラチン14プロモータ制御下で発現させたのがIL-33Tgマウスです。このマウスは8週齢以降ほとんどのマウスで、かゆみをもった皮膚炎が顔面、耳介、尾部等全身に生じ、表皮の肥厚と真皮内への炎症性細胞の浸潤、肥満細胞の増加といった、ヒトアトピー性皮膚炎様の症状を自然発症します。また、ケモカインの増加、高い値の血中IgGおよびヒスタミン濃度が報告されています。これらのことから、皮膚で増加したIL-33が肥満細胞、II型自然リンパ球の活性化を誘導し、その結果好酸球が増加することによりアトピー性皮膚炎が発症するというメカニズムが考えられます。



<外観的特徴> 週齢を重ねるごとに目の周りの病変の進行が顕著にみられる。13週齢では尾根部にも炎症が認められる。

ヒトのアトピー性皮膚炎の症状を再現するモデルマウスとして、その新規治療法開発にお役立て下さい。本マウスを用いた非臨床試験受託も承っております。お問い合わせください。

モデルマウス製品のラインアップ

病態可視化マウス製品	価格 (消費税別)
▶ アトピー性皮膚炎モデルマウス IL-33トランスジェニックマウス	個体販売 (繁殖は許諾されません) 75,000円 / 匹
▶ 肥満抑制モデルマウス Rmi1トラップマウス	繁殖許諾権付き1ペア (あるいは2匹) 300,000円 ※アカデミア価格です
▶ 夜型モデルマウス Clock変異マウス	繁殖許諾権付き1ペア (あるいは2匹) 600,000円 ※営利企業向けの価格設定であり、生産 匹数の制限があります(年間15匹まで)
▶ カテプシンEノックアウトマウス	15匹を超える追加生産の許諾 30,000円 / 匹

カテプシンE遺伝子ノックアウトマウスは、九州大学名誉教授 山本 健二 先生が開発されたマウスであり、当社は本マウスの全世界における製造・販売を許諾されています。

 株式会社トランスジェニック

<http://www.transgenic.co.jp>

Tel : 078-306-0295 Fax : 078-306-0296

〒650-0047 神戸市中央区港島南町7-1-14